

KENKYUSHA'S
NEW COLLEGIATE
ENGLISH-JAPANESE
DICTIONARY

5th
EDITION

KENKYUSHA'S
NEW COLLEGIATE
ENGLISH-JAPANESE
DICTIONARY

新英和中辞典

編 者

小 稲 義 男

山 川 喜 久 男

竹 林 滋

吉 川 道 夫

FIFTH EDITION

第 5 版

KENKYUSHA

KENKYUSHA'S
NEW COLLEGIATE
ENGLISH-JAPANESE
DICTIONARY

1967年／初版発行

1985年／第5版発行

1987年／第17刷



新英和中辞典

編 者／こ いね よし お 小稲義男・や ま か わ き く お 山川喜久男
た け ば や し い げ る 竹林 滋・よ し か わ み ち お 吉川道夫

発 行 者／長井四郎

発 行 所／株式会社 研究社

〒101 東京都千代田区神田駿河台2の9

電話 編集(03)291-6845

業務(03)291-2301

振替 東京9-32260

組 版／研究社印刷株式会社

写真製版／株式会社 近藤写真製版所

印 刷／研究社印刷株式会社

製 本／大栄製本有限会社

ISBN4-7674-1076-2

第5版 ま え が き

本辞典の初版(1967年)は、故 岩崎民平先生の主宰のもとに小稲義男、山川喜久男、故 山下雅巳、竹林滋の先生方の編集によって完成し、幸いにして好評をもって迎えられ、今日まで版を重ねてきました。今回の第5版は、初版以来18年、第4版から数えても8年ぶりの改訂であります。これまでも、本書は一般辞典を兼ねる上級学習辞典として、時代の要請に応えるべくその都度種々の工夫を加えてきました。しかし、その間の英語教育界の様々な変化や英米およびわが国における辞書編集の動向を見ると、本書も抜本的に改革すべき時期に来ていることが痛感されました。そこで、「日本人にとっての英和辞典とは何か」という根本に立ち帰って、全面的な大改訂を行なうことにいたしました。編者として初版以来の先生方に加えて、新たに吉川道夫先生にご参加を乞い、また編集委員として日本語にも堪能な David P. Dutcher (米国)、Stephen A. C. Boyd (英国)の両氏を迎え、(1)細部に至るまで徹底した一貫性をもつ編集と、(2)日英語の微妙な差異をもおろそかにしない綿密な修訂という二つの目標を達成することができました。これによって、学習者および一般社会人が日常身近において使用する中型辞典として、真に役立ちかつ信頼できる辞書になったものと確信いたします。

今回改訂の特色を挙げれば以下のとおりであります。

- 1 今回、第4版までの採録語彙に対し全面的な洗い直しを行ない、不要と思われる語を削除し、英語学習者・一般使用者に必要なと思われる語をスペースの許すかぎり追加した。総収録語数は約7万5000語である。
- 2 学習基本語は種々の新しい資料により総点検を行なって、最上位(中学学習程度の基本語)約1000語、2位(高校学習程度の基本語)約1000語、3位(大学入試や大学教養程度の基本語)約2000語、4位(それに次ぐ基本語)約3000語の4つのランクに分け、総計約7000語を選定して、それぞれに * * * のマークを付けた。
- 3 語義は、重要語はもちろん一般語についても、一般区分の1, 2, 3のほか上位区分として A, B, C, 下位区分として a, b, c を設け、また重要語義には太字を用いて整理・細分し、内容・形式ともに一新した。
- 4 文型の表示は初版以来の一大特徴であったが、今回は使用者の便を考慮して、各文型と語義・用例の有機的対応をはかり、いっそうわかりやすく使いやすしいものとした。
- 5 成句は今回大幅に増強するとともに、句動詞は特に詳細に記述した。
- 6 名詞については、旧版では単純な □ は省略していたのを今回はこれ

を明示した。また、単なる **C.U.**, **U.C.** の図式的な表示を廃して、一定の書式による理由づけを行ない、実用の便をはかった。

- 7 **□** 欄を随所に設けて、種々の解説、関連事項、類語、用法、日英語の比較、語句の由来などの 11 項目の説明に用いた。
- 8 発音表記は米英本国の最新の資料を参考にして、初版以来 18 年ぶりに全面的に書き替えた。特にアメリカ発音を正確に表記するために新たに **[ə]** を使用することにした。また成句のアクセントも再検討していっそう精密なものとした。
- 9 語源の記述は語義より前に置き、説明を日本語に改め、内容も学習者にとって理解しやすく興味をもてるように配慮した。
- 10 品詞名などはほとんど日本語で記号化し、初学者にも親しめるようにした。
- 11 一般社会人の理解語彙の一部として相当数の俗語を増加し、また日常的な卑語も採録した。
- 12 図版は旧版のさし絵 777 枚に対して、第 5 版ではさし絵 730 枚、写真 179 枚である。

終わりに、今回の改訂にあたり、編者の諸先生、なかんずく新たにご参加いただいた吉川道夫先生の献身のご努力に対して深い感銘を受けました。また、編集委員および執筆者としてご尽力いただいた方々にも心からお礼申し上げます。なお、筑波大学教授 金子稔先生には日本人の視点による類語解説で、また早稲田大学教授 小島義郎先生、東京家政学院短期大学 助教授 廣瀬和清先生には内容面でお世話になりました。厚くお礼を申し上げます。

社内編集部では、逸見一好、長井寛三が担当し、最後の段階で白崎政男、篠田達美がこれに協力しました。

この度の改訂で、上記の先生方には長年にわたって一方ならぬご尽力をいただき、そのご努力に応えるべく社内においても遺漏なきを期したつもりではありますが、思わぬ不備や誤りもあることと思われまふ。使用者各位のご叱正によってより良い辞典に育ってゆくことを切に希う次第であります。

1985 年 8 月

研究社社長 植 田 虎 雄

この辞書の使い方

I 見出し語

1 学習基本語彙の指示

約 75,000 語の総収録語のうち、学習上の目安として基本語に星印を付けてある。

***school** 《*は中学学習程度の基本語約 1000 語》

***fear** 《*は高校学習程度の基本語約 1000 語》

***com-mit** 《*は大学入試から大学教養程度までの基本語約 2000 語》

°**com-et** 《°は*印の基本語に次ぐ基本語約 3000 語》

2 綴りの切れ目

(1) 綴りの切れ目 (syllabication) は中丸 (・) で示し、実際にもハイフン (-) を用いる複合語との区別をつけてある。なお、発音によって綴りの切り方が異なる場合には、最初の発音に従った分節を示してある。

country-side

(2) 見出し語が 2 語 (以上の) 複合語などでは、その各々の要素の発音が他で示されている場合、その要素の切れ目にもみ中丸で示してある。

cannon・ball

3 綴り字

(1) 米国と英国とで綴りの異なる時には、米国綴りを優先させてある。

***fa-vor** [féivə | -və] 図 ... 動 ㊦ ...

***fa-vour** [féivə | -və] 図 ㊦ 《英》 = favor.

(2) 外来語句のうち、外国語としての色彩が強いものは、それが英語文中に現われる時の形を考慮してイタリック体で表記してある。

au re-voir

4 配列

(1) 綴りが同じでも、語源の異なるものは別に見出し語として立て、肩番号を付けてある。

***lie**¹ [láij] ㊦ ㊦ ... 1 横たわる...

***lie**² [láij] ㊦ 1 ㊦ (故意に人をだまそうとして) つくうそ...

(2) 語の記述の最後に追い込まれている派生語は、通常のアルファベット順と関係なく追い込まれている。これは紙面節約上、やむを得ない便法だが、ハイフン (-) を用いて見出し語の綴りの一部を、スワングダッシュ (〜) を用いて見出し語と同じ綴りの部分を省略して示してある。特に、**~ly**, **~ness** などは、その本体の語義をそれぞれ副詞 (形容詞) または名詞に転用して利用してもらいたい。

°**fruit-ful** [frú:tfəl] ㊦ ... **~ly** [-fə-

li:] ㊦ **~ness** ㊦ 《**~ly** は **fruit-ful-ly** ㊦, **~ness** は **fruit-ful-ness** ㊦であることを示す》。

(3) 語義の中で (また...) とあるのは、見出し語の代用である。

bit-ter [bitə | -tə] ... ㊦ ... 2 《英》 ... (また **bitter béer**) ... 《bitter 2 は、また bitter beer ともいう、の意で、別に bitter beer の見出しはない》。

(4) 見出し語の一部に数字がある場合は、その数字をアルファベットに読み換えた語順の箇所に配置してある。

carbon 14 《carbon fourteen の語順に入る》。

(5) 見出し語の一部分の言い換えには [] を用い、見出し語の一部分の省略には () を用いてある。

Láke District [Còuntry] 《**Láke District** または **Láke Còuntry** の意である》。

blond(e) 《**blond** または **blonde** の意である》。

II 発音 《詳しくは巻末の「発音解説」を参照のこと》

1 発音記号

(1) 発音は国際音声記号を用いて、見出し語の直後に [] に入れて示してある。米音と英音が異なる時には [米音 | 英音] の順で表記してある。

***there** [ðéə | ðéə] 《[ðéə] が米音で、[ðéə] が英音を表わす》。

(2) 2 種類以上の発音の仕方がある場合には、共通部分はハイフン (-) で示してある。

***ul-ti-mate** [áltəmæt, -mit] 《[áltəmæt] と [áltəmit] の 2 つがあることを表わしている》。

(3) 省略可能な発音は () に入れて示してある。

***ce-re-al** [sí(ə)riəl] 《[síəriəl] と [síriəl] があることを示している》。

(4) 発音で弱形と強形のあるものは () で示してある。

***at** [(弱形) ət; (強形) æt, éet] ㊦ ...

(5) 外来語の発音は近似の英語音で示してある。

au re-voir [òurəvwáə, -vwóə | -vwá:, -vwó:]

2 アクセント

(1) 母音字の上の [ˈ] は第 1 アクセントを示し、[ˌ] は第 2 アクセントを示してある。

*la·bel [léibəl] / meg·a·phone [méga·foun]

- (2) 2語以上から成る見出し語については、それぞれの要素が独立して見出し語にあれば発音を示さず、見出し語にアクセント記号だけを示してある。

blóod gròup

- (3) 独立して見出しにない語や、まぎらわしい時には、一部を表記してある。

léad pòisoning [léd-]

- (4) 成句・句動詞にも標準的なアクセントを付けてある。

be at déath's dóor
gèt báck

- (5) 発音が同じでアクセントだけが違う場合、各音節をダッシュ (‐) で表わし、アクセントの位置の差を示してある。

*in·creas·ing·ly [ínkrí:síglí(:), ニー—]
《これは [ínkrí:síglí(:), ínkrí:síglí(:)] を表わす》。

- (6) アクセントの移動が起こることがあるものについては発音記号の後に ˘ の記号を用いて表記してある (⇒ 巻末「発音解説」13)。

*Jap·a·nese [dʒəpəniːz˘]

III 語 源

語源の記述は、語源学的記述というよりは、むしろ語義の理解の助けと学習上のヒントとなるような語源的情報を提供することを主眼として、できるだけ日本語による記述で『 』の中に表記してある。ただし、外来語のうちで、それに対応する英語が書かれてあるものもある。

*Jan·u·a·ry [dʒænjuəri(:) | -nju(ə)ri] 《ラテン語「Janus 神の月」の意から；旧年と新年の両方にまたがる月であることから；⇒ September》— ㊦

ad hoc [əd'hák | -hók˘] 《ラテン語「for this」の意から》— ㊦

IV 品 詞

この辞書では、品詞名に以下の略語を用いてある。

名	 名詞	動 ㊦	 自動詞
代	 代名詞	副	 前置詞
形	 形容詞	接	 接続詞
副	 副詞	間	 間投詞
助動	 助動詞	接頭	 接頭辞
動	 動詞	接尾	 接尾辞
動 ㊦	 他動詞		

V 語形変化

この辞書では名詞・代名詞・形容詞・副詞・動詞・助動詞の語形変化を () で示してある。

1 名詞の複数形

- (1) 不規則変化をするもののみを (複 ...) と表記し、規則変化のものは省略してある。

*knife [náif] ㊦ (複 knives [náivz])

*sheep [ʃi:p] ㊦ (複 ~)

- (2) 綴り字が -o で終わるものはすべて複数形を表記してある。

*pi·an·o¹ [piænou] ... ㊦ (複 ~s)

*po·ta·to [pətétou, -tə | -tou] ㊦ (複 ~es)

- (3) 複合語で単純に -(e)s とならず、前部 (または後部) 要素が変化するのはすべて表示してある。

bróther-in-làw ㊦ ㊦ (複 brothers-in-law)

cóurt-mártil ㊦ ㊦ (複 courts-martial, ~s)

2 形容詞・副詞の比較変化

- (1) 星印 (★ ★ ★) つきの学習基本語で比較変化を有するものはすべて品詞表示の後に () で表示してある。

*kind¹ [káind] ... ㊦ (~er; ~-est)

*beau·ti·ful [bjú:tifəl] ... ㊦ (more ~; most ~)

- (2) 星なしの語については、1音節で (~er; ~-est)、2音節以上の語で (more ~; most ~) となるものについては表記せず、その原則に外れるものについてののみ表記してある。

3 (比較なし)

形容詞・副詞には通例比較変化をもたない語・語義がある。この辞書では、学習上の便宜を考慮して、星印 (★ ★ ★) つきの基本語に限って (比較なし) と表記してある。

*ju·nior [djú:njə | -njə] ... ㊦ (比較なし)
1 年少のほうの...

*ar·tis·tic [ætístik | à:-˘] ... ㊦ (more ~; most ~) 1 芸術的な... 2 (比較なし) 芸術的、美術的...

*al·ways [ólwiz, -wəz, -weiz] ㊦ (比較なし) 1 常に、いつも...

4 動詞の語形変化

- (1) 不規則変化をするものののみ表記してある。過去形と過去分詞 (および現在分詞) の間はセミコロン (;) で区切り、それぞれの変化形の異形はカンマ (,) を用いて示してある。

*take [téik] 動 (took [túk]; tak·en [téik·ən])

*run [rán] 動 (ran [ráen]; run; run·ning)

*for·get [fəgét, fə- | fə-] 動 (for·got [-gát | -gót]; for·got·ten [-gátn | -gótn], 《米》for·got)

- (2) 規則変化動詞であっても注意を要するもの (子音字を重ねるものや -c で終わるものなど) は表記してある。

*sin [sín] ... ㊦ (sinned; sin·ning)

frol·ic [frálik | fról-] ... 動 ㊦ (frol·icked; -ick·ing)

VI 語 義

- 1 この辞書では、編集方針に則り、また使用者

の検索の便を考慮して、語義の整理に主眼が置かれてある。そのため、通常の区分には **1**, **2**, **3**... を用い、それより下位の区分には **a**, **b**, **c**... を用いてある。

◦ **dome** [dóum] 【イタリア語「大聖堂」の意から】— ④ **1** (半球状の)丸屋根, ドーム; 九天井。 **2** a 丸屋根状のもの: the ~ of the sky 大空。 **b** (山・樹木などの)円頂。 **c** 半球形の建物。 **d** 鐘形のおおい。 **e** 【米口語】頂。

- 2** ひとつの語がきわめて多義にわたりそれらがいくつかの意味ブロックに分かれると考えられる時や、ひとつの語が大きくかけ離れる語義をもつ時には、使用者の語義の検索・把握を助ける意図で、**1**, **2**, **3**... の上位区分として **A**, **B**, **C**... が用いてある。

◦ **fly**¹ [flái] 動 **A** (flew [flú:]; flown [flóun]) ④ **1** (空中を翼や機械を用いて)飛ぶ... **2** ... **3** ... **4** ...

— **B** (fled [fléd]) **1** a 逃げる... **2** ...
— **C** (fied) 【野球】 **1** フライ(飛球)を打つ。**2** ...

◦ **cus-tom** [kástəm] ... ④ **A** **1** **C** [集合的には **U**] **a** (確立されている社会の)慣習... **2** ...
— **B** **1** [複数形で] 関税... **2** ...

- 3** 星印(※※※) つきの語では、特に重要な語義にはその重要性がひと目で理解されるように太字を用いてある。

◦ **fun** [fán] ④ **U** **1** 戯れ, ぶざけ...

VII A P について

形容詞には、通例 名詞・代名詞の前に置いて直接名詞を修飾する限定的用法 (Attributive use) と、動詞の補語に用いられる叙述的用法 (Predicative use) とがある。この辞書では、特に、通例限定的用法に限って用いられるものには **A**, 通例叙述的用法に限って用いられるものには **P** と表示してある。

◦ **whole** [hóul] ... ④ (比較なし) **1** **A** **a** [the ~, one's ~] 全体の...

◦ **fond** [fánd | fónđ] ... ④ **1** **P** [+副+**U**] **a** [...を]好んで[of]...

VIII U C について

名詞(名詞句を含む)の中には、語または語義上、**1** つ **2** つと数えることができ、単数形には不定冠詞 **a**, **an** がつき、複数形にもなる場合と、**1** つ **2** つと数えることができず、不定冠詞もとらず複数形も持たない場合とがある。前者を「可算語」(Countable), 略して **C**, 後者を「不可算語」(Uncountable), 略して **U** としている。この考えを語義の理解と語の用法を知るひとつの指針として、この辞書では、学習上の立場を前提として許せる限り、原則論的に活用してある。

ただし、固有名詞(普通名詞化されたものは別)と呼び掛けに用いた場合と、特定のものには、**U** **C** の表示はない。また、**U** **C** は絶対的なものではなく、語義の理解と学習上の効果を考えた

上の便法なので、幅のある理解をしていただきたい。

なお、**U** **C** だけでは語義の区別が不鮮明な場合には、**U** 【具体的には **C**】とか、**C** 【料理名としては **U**】などの理由づけの補足や、**U** **C** 以外に [a ~] [単数形で] [複数形で] などの便法も用いてある。

◦ **de-moc-ra-cy** [dimákrəsi:] | -mók-] ... ④ **1** **U** 民主主義... **3** **C** 民主主義国...

◦ **high school** [háiskù:l] ④ **U** 【施設をさす時には **C**】(米国の)ハイスクール, 高等学校...

◦ **fla-vor** [fléivə | -və] 【古期フランス語「におい」の意から】— ④ **1** **U** 【具体的には **C**】(独特の)味, 風味...

IX 語義・用例などに用いてある記号

- 1** < > は主に以下の場合に用いてある。

- (1) 動詞における主語・目的語を示す。

◦ **fas-ten** [fáesn | fás:n] ④ **1** **a** [+目] <ものを>しっかり留める, <くくりつける>: ~ a rope ロープを留める...

— ④ **1** <ドアなどが>締まる; <かぎなどが>かかる; 留まる: This window [clasp] will not ~. この窓[とめがね]はどうしても締まらない...

- (2) 動詞における補語を示す。

◦ **feel** [fi:l] ... ④ **1** **a** [+補] <人が>...であると感じる, <...の>感じ[心地]がする...

- (3) 形容詞などにおける選択制限を示す。

◦ **fluent** ... ④ **1** **a** <人が>流暢(じょうせう)な, 能弁な, すらすらと話せる[書ける]: **a** ~ speaker 能弁な人, ... **2** <言葉が>流暢な, すらすらと出る: speak ~ Japanese 流暢な日本語を話す。

- (4) 前置詞の目的語を示す。

put on [(**U**+**副**)] ~ on... (9) 《英》<人>に迷惑をかける。

- (5) 文型と対応する種々の要素を示す (⇒ XII)。

◦ **find** [fáind] ... 動 ④ ... **4** **b** [+(<that> **U**)] (何となく) <...である>と感じる, <...だという>感じがする; <...>思う...

◦ **a-ble** [éibl] ④ ... **1** **P** [+to do] <...することが>できて, <...し>えて...

◦ **ac-knowl-edge** [aknólidz | -nól-] 動 ④ **1** **c** [+doing] <...する[した]ことを>認める, 白状する...

◦ **know** [nú] ... 動 ④ **1** **d** [+wh. **副**/+wh. +to do] <...か>を知る, 知っている...

◦ **start** [stúæt | stát:] ... ④ **1** **d** [+doing] <...することを>始める, <...し>始める...

◦ **de-clare** [dikléə | -kléə] ... 動 ④ **1** **f** [+**副**用] <...>と言い放つ[切る]...

◦ **wash** [wáf, wáf | wáf] 動 ④ **1** **e** [+目+**副**] <...を>洗い落とす[取る] <away, out, off> ...

- 2** [] は前置詞を示す場合に用いる (⇒ XII)。

◦ **de-pend** [dipénd] ... 動 ④ **2** **a** [+**副**+**副**用] <人が>...を当てる, 信頼する [on, upon] ...

°de-pen-dence [dipéndans] ... 図 U
1 [...]に頼ること; 依存 (on, upon) ...

3 [] は主に以下の場合に用いる。

- (1) 言い換え可能の場合に用いる。

五分五分の[て]「五分五分の」と「五分五分で」の意である。

- (2) 語法・用法上の指示・注意事項を示す場合に用いる。

*earl [iə | iə] 図 2 a 図 [通例 単数形で] 聴覚, 聴力: a keen [nice] ~ 鋭い聴力...

4 () は以下の二つの場合に用いる。

- (1) 訳語の補足説明に用いる。

*field [fi:ld] 図 1 図 [通例 複数形で] a (森林・建物のない)野...

- (2) 省略可能の箇所を示す場合に用いる。

妖精のような)「妖精の」と「妖精のような」の意である。

5 () は訳語の説明, 語調 () ははじめとする種々の解説に用いる。

Fin-land [finlænd] 図 フィンランド(スウェーデンとソ連の間にある共和国; 首都 Helsinki)。

6 ~ について。

見出し語と同じ綴りの部分はスワングダッシュ (~) で, 見出し語の一部が変わる時の変わらない部分は短いスワングダッシュ (~) を用いてある。

*best [bést] 図 1 [the ~] 最上, 最善: the next [second] ~ 次善のもの...

leg-horn [lég(h)ɔ:n | legó:n] ... 図 [時に L~] 図 レグホン種の鶏...

7 その他の記号

- (1) cf. は「参照せよ」の意で, 相手方に関連のある記述のあることを示す。
(2) ⇔ は「相手方を見よ」の意で, 主な記述が相手方にあることを示す。
(3) = は「相手方と同じ」の意で, 記述自体が相手方にあることを示す。
(4) ⇐ は「反意語・対語」を示す。
(5) ★ は注意すべき事柄につけてある。なお, 特に注意を喚起する意味で ★ の後に [解説], [関連], [用法], [比較], [由来], [語形], [綴り], [読み方], [変換], [発音] などの囲みがつけてある。

8 語のスピーチレーベルは, この辞書の編集の方針に基づいて, 大体の傾向を示すものとして以下のような区分を行なっている。

《米》.....主として米国で用いられる

《英》.....主として英国で用いられる

《スコ》.....スコットランド方言

《イル》...アイルランド方言

《豪》.....オーストラリア英語

《インド》...インド英語

《カナダ》...カナダ英語

《口語》.....日常会話を中心としたくだけた感じの語

《文語》.....文学作品や形式ばった表現の語

《方言》.....地方独特の語

《俗》.....《口語》よりさらにくだけた感じの語

《学生俗》...学生間のくだけた語

《小児》.....主に幼児・子供の用いる語

《詩》.....主に詩の中で用いる語

《まれ》.....あまり用いられない語

《古》.....現在では用いられなくなった語

《卑》.....人前では用いないほうがよいとされている下品な語

9 専門語は『』を用いてその分野名を示してある。『』の中に略号を用いているものは以下のとおり。それ以外のものは分野名を完全に表記するか, 一読して分野名が理解できるように表記してある。

《アメフト》.....アメリカン フットボール
《植》.....植物, 植物学
《数》.....数学
《医》.....医学
《政》.....政治
《映》.....映画
《聖》.....聖書
《化》.....化学
《生》.....生物学
《画》.....絵画
《古星》.....占星術
《代》.....代数
《地》.....地理
《海》.....航海, 海語
《楽》.....音楽
《哲》.....哲学
《幾》.....幾何
《天》.....天文
《機》.....機械
《電》.....電気
《ギン》.....ギリシャ神話
《電算》.....電子計算機
《空》.....航空, 飛行
《動》.....動物, 動物学
《軍》.....陸海軍, 軍事
《農》.....農業
《経》.....経済
《美》.....美術
《建》.....建築
《簿》.....簿記
《言》.....言語学
《法》.....法律, 法学
《鉱》.....鉱物
《紡》.....紡績
《工》.....工学
《紋》.....紋章
《光》.....光学
《理》.....物理学
《古生》.....古代生物
《獣》.....狩猟
《昆》.....昆虫
《ロ神話》.....ローマ神話
《史》.....歴史
《倫》.....倫理学
《写》.....写真
《論》.....論理学
《商》.....商業

X 成 句

1 成句は各品詞の語義の記述の後にアルファベット順に配列し, 標準的なアクセントを付してある。なお, 「動詞+名詞」の成句は原則として名詞の項で, 「名詞+前置詞+名詞」のように複数の名詞がある場合には原則として最初の名詞の項で主記述を与えてある。また, 検索しにくい成句の場合には, 主記述を与えた箇所以外の語からも適宜 ⇔ による参照を付け, 使用者の便に供するようにしてある。

be at déath's dóor 死に瀕(2)している。

be on the dóor (改札など)出入口の業務をする。

by the bák dóor 秘密に, こっそりと。

2 白抜き矢印 (⇒) による参照は, 相手項目の同形の成句を見よ, の意である。

*long! : in the lóng rùn ⇒ run 図

*run : in the lóng rùn 長い目で見れば, 結局は...

3 イコール (=) は, イコールの後のスモール

キャピタル (SMALL CAPITAL) で表記した語の項の成句と同義、の意である。

***few** : but **few** 《文語》=only a few **成句**
only a few ほんのわずが[少数]の...

XI 句動詞

動詞と副詞・前置詞との組み合わせから成る句動詞 (phrasal verb) には特に意を注ぎ、以下の形式に従ってその構成要素を明確に表記し、合わせて標準的なアクセントを付して成句欄に配列してある。

- 1 副詞との連結は《③+副》《④+副》とすべて明記してある。

gèt bák 《③+副》(1) (家などへ) 帰る; (もとへ) 戻る...

tàke ín 《④+副》(1) <ものを>(中)に取り入れる...

- 2 ひとつの句動詞の中で後部要素が副詞・前置詞の両方に用いられる時には、《③+副》《④+副》《④+副》《④+副》と、すべて要素を明記してある。なお、その場合、副詞と前置詞ではアクセントが異なることがあるため、太字の成句の上にはアクセントを表記せず、[] の中で上記の各要素を明記した後に個々のアクセントを表示してある。

get ín [《③+副》 ~ ín] (1) (中)に入る...
 —[《④+副》 ~ ín...] (8) ... (の中)に入る...
 —[《④+副》 ~ ín] (9) <...を>(中)に入れる, 持ち込む... —[《④+副》 ~ ...ín] (16) <...を>...(の中)に入れる...

- 3 《④+副》における他動詞の目的語の位置が固定しているものについては以下の形式で区別を行ない、使用者の注意を喚起するようにしてある。

- (1) [~+目+当該副詞]... 目的語が名詞・代名詞いずれの場合でも通例 動詞と副詞の間に置かれるもの。

get over ... —[《④+副》 ~ óver] ...
 (12) [~+目+over] <いやな仕事などを>済ませる, 片づける: Let's ~ the job over quickly. 仕事は早く片づけよう。

- (2) [~+当該副詞+目]... 目的語が名詞の場合には動詞・副詞の後に置かれるが、代名詞になった場合には動詞・目的語・副詞の順になるもの。

pùt úp 《④+副》... (6) [~+up+目] <抵抗などを>示す; <戦いを>続ける: ~ up opposition 反論[異議]を唱える / They have ~ up a long hard fight against poverty. 彼らは貧困と長く厳しい戦いを続けてきた...

XII 文型について

文型といえ、動詞の基本5文型がよく知られているが、この辞書では、語義と用法を理解してもらうための手段として文型が意義づけられている。このため、動詞のみならず、形容詞・名

詞・一部の副詞にも文型が適用されている。

特に動詞に限ると、目的語を表わす[+目]と、補語を表わす[+補]の機能的要素を用いながらも、他に形態的要素を加えた、この辞書独自の文型表示がされている。これも、語義と文型と用例の有機的つながりを知るための学習上の便法である(前置詞を示す[]や、副詞などを示す[]などを参照のこと)。使用者は通例平叙文を基本としたこの文型の意義を理解して、これを一つの指標として語義・用法の理解に供してもらいたい。

なお、語義との関連から多くの文型が出てくるが(詳しくは次ページの文型表を参照のこと)、動詞に関しては、その根本的な考え方には、自動詞と他動詞の2つの大別の中で、文型1, 文型2, 文型3, 文型4, 文型5, 文型6, 文型7の7つの基本的文型がある。しかし、この中で文型2を文型1に吸収し、また文型5を文型4に吸収するなら、伝統的な5文型と合致する。

以下、注意すべき点を示す。

[+目]	目的語を伴う*
[+補]	補語を伴う
[+目+目]	間接目的語と直接目的語を伴う
[+目+補]	目的語と補語を伴う
[+to do]	to つき不定詞を伴う
[+原形]	to なし不定詞を伴う
[+doing]	~ing 形を伴う
[+過去分]	過去分詞を伴う
[+that 節]	that 節を伴う
[+wh. 節]	wh. 節を伴う(wh. 節とは what, who (whose, whom), which, when, where, how, why および whether (または whether と同義の if) に導かれる節をいう)
[+wh.+to do]	wh. 疑問詞 (what, who, which, when, where, how など) + to つき不定詞を伴う
[+as if 節]	as if, as though に導かれる節を伴う
[+副+前置詞]	特定の前置詞に導かれる句を伴う
[+副]	特定の副詞を伴う
[+副(節)]	副詞(副詞句または時に副詞節)を伴う
[+直接語]	直接語法の文を伴う

*[+目] は星印(★) つきの学習基本語にはすべて明記し、星印なしの語については、一つの語義の下位区分 a, b, c... の中で他の文型が出現する時にはそれらと対比的に[+目]と表記するが、その他の場合は省略してある。

なお、[+目(+副+前置詞)], [+ (that) 節] のように、文型の中に()を用いているのは、()の中が省略される場合もあることを意味する。

文 型 表

動詞型 第1文型《完全自動詞の文型》

1: [動]*《*この辞書では表示なし》	The sun <u>shines</u> brightly.
2: [動(+副)]	The pain has <u>gone</u> (<i>away</i>) now.
3: [動(+副(句節))]	The kids were <u>skipping</u> (<i>about</i>) in the park.
4: [動(+副+代名)]	He <u>graduated</u> <i>from</i> Yale in 1933.
5: [+to do]	We <u>stopped</u> <i>to</i> talk.
6: [+for+代名+to do]	He was <u>waiting</u> <i>for</i> the bus <i>to</i> come.
7: [+doing]	My father often <u>goes</u> <i>fish</i> ing in the river.

第2文型《自動詞に副・句・節を伴う文型》

1: [+副+代名]	Their marriage ended <u>in</u> divorce.
2: [(+副)+副+代名]	The coffee has <u>slopped</u> (<i>over</i>) <i>into</i> the saucer.
3: [+副]	Debts <u>piled</u> <i>up</i> .
4: [+副(句節)]	He will <u>remain</u> <i>here</i> [<i>at the hotel</i>] three more days.
5: [+to do]	He <u>seems</u> <i>to</i> know everything about it.
6: [+副+代名+to do]	She <u>motioned</u> <i>to</i> him <i>to</i> go out.
7: [+that 節]	Just because he is poor, it does not follow <i>that</i> he is unhappy.
8: [+副+代名+that 節]	You may <u>depend</u> <i>on</i> it <i>that</i> he will go with you.
9: [(+副+代名)+that 節]	It <u>seems</u> <i>to</i> me <i>that</i> you are not really interested in learning.
10: [+as if 節]	It doesn't <u>look</u> <i>as if</i> we shall succeed.

第3文型《自動詞に補語を伴う文型》

1: [+補]	He <u>is</u> a good doctor.
2: [+過分]	They <u>got</u> married last month.
3: [+as 補]	He <u>acted</u> <i>as</i> interpreter.
4: [(+to be) 補]	He <u>appears</u> (<i>to be</i>) rich.
5: [+to do]	To live <u>is</u> to fight.
6: [+doing]	Seeing <u>is</u> believing. / The child <u>kept</u> crying.
7: [+that 節]	The trouble <u>is</u> <i>that</i> she does not like it.
8: [+wh. 節]	What matters <u>is</u> <i>how</i> they live.
9: [+wh. +to do]	The question <u>is</u> not <i>what</i> to do but <i>how</i> to do it.
10: [+as if 節]	He <u>looked</u> <i>as if</i> he hadn't heard.

第4文型《他動詞に目的語を伴う文型》

1: [+目]	Most children <u>love</u> ice cream.
2: [+目(+副)]	He <u>shouted</u> (<i>out</i>) his orders.
3: [+目(+副+代名)]	He <u>played</u> a practical joke (<i>on</i> me).
4: [+目(+副(句節))]	She <u>swept</u> the dust <i>out</i> (the door).
5: [+to do]	I want <u>to</u> go to France.
6: [+原形]	Go and <u>help</u> wash up at the sink.
7: [+doing]	It has <u>stopped</u> raining.
8: [+所有格+doing]	Pardon my <u>contradicting</u> you.
9: [+目(+副)+doing]	She <u>spends</u> too much time (<i>in</i>) dressing herself.
10: [+that 節]	She <u>said</u> <i>that</i> she lived alone with her mother.
11: [+wh. 節]	Please let us <u>know</u> <i>when</i> you are coming.
12: [+wh. +to do]	I just didn't <u>know</u> <i>which</i> way to turn.
13: [+副(句)]	"Get out of the room!" he <u>shouted</u> .

第5文型《他動詞に目的語と副・句・節を伴う文型》

1: [+目+副]	I can't wash this stain <u>out</u> .
2: [+目+副+代名]	They scattered gravel <u>on</u> the road. / They scattered the road <u>with</u> gravel.
3: [+目+副+名]	He hit me <u>on</u> the head [<u>in</u> the face].
4: [+目+副+doing]	We prevented the fire <u>from</u> spreading.
5: [+目+副(句節)]	He <u>led</u> us to the hotel.

第6文型《他動詞に間接目的語と直接目的語を伴う文型》

1: [+目+目]	He sent me a letter of appreciation.
2: [+目+that 節]	He told me <u>that</u> he liked baseball.
3: [+目+wh. 節]	He asked her <u>where</u> she had been.
4: [+目+wh.+to do]	She showed me <u>how</u> to make a knot.
5: [+目+to do]	I promised him <u>to</u> be there at one.

第7文型《他動詞に補語を伴う文型》

1: [+目+補]	My answer made him angry.
2: [+目+as 補]	I regard the situation <u>as</u> serious.
3: [+目+(to be) 補]	I think him (to be) a charming person.
4: [+目+過分]	I had my composition corrected by our teacher.
5: [+目+to do]	I cannot allow you <u>to</u> behave like that.
6: [+目+原形]	He won't let anyone enter the room.
7: [+目+doing]	I can see some little fish swimming about in the water.

形容詞型

1: [+副+代名]	She is fond <u>of</u> children [playing the piano].
2: [+of+代名(+to do)]	It is very kind <u>of</u> you (to lend me the book).
3: [+for+代名+to do]	On the bed I saw a new dress ready <u>for</u> me to put on.
4: [+to do]	He is apt <u>to</u> forget people's names.
5: [+that 節]	I'm happy <u>that</u> you have come to our party.
6: [(+副)+wh. 節句]	He was anxious (<u>about</u>) how you were getting on.

名詞型

1: [+to do]	He has the ability <u>to</u> make a good plan.
2: [+for+代名+to do]	There is no need <u>for</u> you to apologize.
3: [+that 節]	I have an idea <u>that</u> he is still living somewhere.
4: [(+副)+doing]	Did you have much trouble <u>in</u> finding my house?
5: [(+副)+wh. 節句]	You don't have the slightest idea (<u>of</u>) how much she has missed you.

a¹, A¹ [éi] ㊦ (㊦ **a's, as, A's, As** [-z]) **1** ㊦ [具体的には ㊦] エイ [英語アルファベットの第1字; cf. alpha]. **2** ㊦ (連続したものの) 第1番目(のもの).

from **A** to **Z** 初めから終わりまで, すっかり: learn a subject from **A** to **Z** ある科目を余すところなく学ぶ.
a² [éi] ㊦ ㊦ (㊦ **a's, as** [-z]) [通例 **a** の字体で] **【数】** 第1既知数 (cf. **b², c²; x², y², z²**).

A² [éi] ㊦ (㊦ **A's, As** [-z]) **1** ㊦ **A** 字形(のもの). **2** ㊦ [具体的には ㊦] (5段階評価で) 秀, エイ (cf. grade 3): all [straight] **A's** 全秀 / He got an **A** in English. 英語で秀をとった. **3** ㊦ (ABO式血液型の) **A** 型. **4** ㊦ **【楽】** **a** イ音 [ドレミ唱法のラ音]: **A** flat [sharp] 変[嬰(ク)]イ音. **b** イ調: **A** major [minor] イ長調[短調]. — ㊦ 最上級の: ⇒ **A** one.

***a³ [(弱形) ə; (強形) èi, éi]** **【古期英語 'one' の意から; a は子音の前で an の n が脱落したもの】** — ㊦ **《不定冠詞》** (★ **囲因**) (1) [éi] は特に強調する場合や息をついて発音する場合にだけ用いる; (2) 子音の前では **a**, 母音の前では **an** を用い, 綴りによらない (⇒ **an** **囲因**): **a** cow, **an** ox; **a** horse, **an** hour [áuə | áuə]; **an** uncle, **a** unit [jú:nít]; **an** office girl, **a** one-act [wán-ækt] play; **a** u, **an** s; (3) 単数形の可算名詞に形容詞がつく場合, 通例 「**a**(n) + **○**」 + **○** + **○**」の語順になる (例: **a** fine day / **a** very fine day); 文語の many, such, 感嘆詞の what, しばしば half, quite, rather の場合, **a**(n) はそれらの後にくる (例: **many a** boy / **such a** thing / **What a** pity! / **half an** hour / **quite a** young lady / **rather an** idle boy); **as**, **so**, **too** の後に形容詞を伴った場合 「**as** [so, too] + **○** + **a**(n) + **○**」の語順になる (例: **as** [so, too] heavy **a** burden); (4) **this**, **that**, **some** などの限定詞や **my**, **his** などの所有格と **a**(n) を並列することはできない (例: **a** **this** girl, **this a** girl, **a** **my** daughter, **my a** daughter は間違い; cf. **a** daughter of mine ⇒ **mine**! **2** **囲因**); (5) 「**no** such [形容詞の比較級] + **○**」の形の場合には **a**(n) を入れない (例: **no** such **a** disaster, **no** greater **an** honor は間違い); (6) 呼び掛けの場合には無冠詞: Hello, friend! (7) 補語になる名詞が官職・地位・役割などを表す場合には無冠詞: She was elected chairperson. 彼女は議長に選ばれた).

1 a [可算名詞の単数形の前に] (漠然と) あるひとつ[一人]の (★ **囲因**) **one** の弱まった意で通例 訳さない: There is a book on the desk. 机の上に本が (1冊) ある / I want a book. 本がほしい / A student came to see me. (ある) 学生が会いに来た / It's not a good job, but it's a [éi] job. よい仕事ではないがまあということろだ / She has a [éi] (=such a wonderful [terrible etc.]) voice. 彼女はすばらしい[ひどい, などの]声をしている / a poet and novelist 詩人で小説家 《一人》 (★ **匠**) **a** poet and a novelist は通例 「詩人と小説家 (二人)」の意味; ただし, 一人で二面の活動または性質を強調する時は両方に冠詞がつく: He was an actor and a playwright. (彼は俳優でありかつ劇作家であった) / a watch and chain 鎖つきの時計 (★ and は with の意で1個のものと考ええる). **b** ひとつの, 一人の: Rome was not built in a day. 《諺》ローマは1日に成らず / in a word ひと口に言えば / to a man 一人

残らず / ⇒ to an hour **㊦** / I never said a word. ひと言も言わなかった / a day or two 一兩日 / I said a [éi] book, not a [éi] magazine. 本1冊と言ったのであり, 雑誌1冊と言ったのではない.

c [通例非可算名詞として用いる名詞につけて] ...の一片; ...の一例; ...の一人前, 一回分; ...の一種類; ...の結果(造られるもの): **a** stone 石ころ (★ **匠**) **stone** ㊦ 石材 / **a** fire たき火, 火事, 暖炉の火(など) (★ **匠**) **fire** ㊦ 火 / **a** murder 殺人事件 / **a** kindness (一つの) 親切な行為 / **a** beer [coffee, whiskey and soda] ビール[コーヒー, ウイスキーソーダ] 1杯 / **an** aspirin アスピリン1錠 / have a sleep ひと眠りする / **an** invention 発明品 (★ **匠**) **invention** ㊦ 発明 / **a** building 建築物 (★ **匠**) **building** ㊦ 建築).

2 a ある(程度)の (★ **囲因**) **some, a certain** の弱い意味: in a sense ある意味では / I have a knowledge of astronomy. (専門家)ではないが天文学のことはいくらか知っている. **b** 《文語》[固有名詞につけて] ...という人 (⇒ **certain** **B** 2): **a** Mr. Smith スミスさんという人. **c** [固有名詞につけて] ...家の人: **a** Stuart スチュアート家の人. **d** [固有名詞につけて] ...の作品[製作]: **a** Picasso ピカソの作品 / **a** Ford フォード(社製の)車.

3 a [固有名詞につけて] ...のような人[もの]: **a** Newton ニュートンのような人[大科学者]. **b** [... of a... の形で] ...のような... (cf. of **A** 5 b): an angel of a boy (天使のような)とてもかわい少年. **c** 《文語》[固有名詞につけて; 人などの新しい様相・それまでに知らなかった面を示して]: **a** vengeful Peter Baron 復讐(ふさ)に燃えたピーター・バロン.

4 [総称的に] ...というもの, すべて... (★ **囲因**) **any** の弱い意で通例 訳さない: **A** dog is faithful. 犬は忠実である (★ **囲因**) 複数構文でも **some**, **any** を用いない (cf. the **B** 1 a): Dogs are faithful..

5 [単位を表す語につけて] ...につき (per) (★ **囲因**) 前置詞の働きをし, また, 訳さないこともある; cf. the **B** 5): once a day 日に1回 / 5 dollars a yard ヤード5ドル.

6 《まれ》同一の, 同じ (★ **囲因**) 通例 of a... の形で用いる: They are all of a mind [a size]. みな同じ心[大きさ]である / be of an age <二人以上が同じ年齢である / birds of a feather 同類.

7 [数量を表す語につけて慣用語法に] ⇒ **few** ㊦ 2, ㊦ 2, little ㊦ **B** 2, ㊦ **B** 2, many 2, a good [great] MANY **㊦**.

a⁴ [ə] **【動】** (口語・方言) = have²: You must a [mʌst] done it. = You must have done it.

a⁵ [ə] **【副】** (口語・方言) = of (★ **囲因**) ししばしば先行する名詞につけて用いる: kinda = **KIND**² of **㊦** / sorta = **SORT** of **㊦**.

@ [æt] **【ラテン語 ad (=at) のペン字体を符号化したもの】** — 《記号》《商》単価...て: @ \$ 100 a doz. 1ダース100ドルで.

A 《略》ampere; 《理》angstrom; answer; 《記号》《化》argon.

Å 《記号》《理》angstrom.

a. 《略》about; acre(s); act(ing); adjective; age(d); alto; ampere; answer; are²; assist(s) 《野球》補殺; at.

A. 《略》absolute (temperature); Academician; ㊦

Academy; Airplane; America(n); April; Army; Artillery.

a-¹ [a] 接頭 1 [名詞につけて形容詞・副詞を作って] 「...に」「...へ」「...で」の意(★ 囲因 この a- のついた語は [P] の形容詞としてのみ用いる): ashore 海岸へ / abed (古) = in bed / ⇒ afoot. 2 [動名詞につけて] (古・方言) 「...して」「...中で»: fall a-crying 泣きさす / go (a-)fishing 釣りに行く / The house is (a-)building. 家は建築中だ(★ 匹較 現在では ...is being built. のほうが一般的) / set the bell (a-)ringing 鐘を鳴らし始める(★ a- は現在では通例略されるため -ing 形は現在分詞ともみなされる).

a-² [ei, æ, ə] 接頭 「非...」「無...」の意: amoral, atheist.

AA (略) Alcoholics Anonymous; [信号] Anti-aircraft; Automobile Association (英国の自動車協会(自動車運転者の団体で、路上での故障修理などのサービスを行なう)).

aard-vark [ˈɑːdvɑːk | ˈɑːdvɑːk] 図 [C] (動) ツチバタ, アフリカアリクイ(アリ・シロアリを常食とするアフリカ産の夜行性動物).

Aar-on [ˈɑːrən] 図 [聖] アロン(Moses の兄, ユダヤ最初の祭司長).

AB 図 [U] (ABO 式血液型の) AB 型. 「Arts.

A.B. (略) able-bodied seaman; Bachelor of ab- [æb, əb] 接頭 「分離」「離脱」の意を表わす(cf. abs-): abnormal, abduct, abuse.

ab-a-ci 図 abacus の複数形.

a-back [əbæk] 副 (古) 後ろに, 後方に.

be taken aback 人(が)に...に不意を打たれる, あっけにとられる (by, at).

ab-a-cus [ˈæbəkəs] 【ギリシャ語「板」の意; 数字を書くために板の上に砂をまいた】— 図 [C] (複 ~es, -ci [sai]) 1 a (子供に計算を教えるための計算器(数本のルールに玉がついている)). b (東洋の)そろばん. 2 「建」(円柱頭のかむり板(⇒ capital)さし絵).



abacus 1 a

a-baft [əbæft | əbɑːft] (海) 副 船尾に[へ].

— 副 ...より船尾に, ...の後ろに: ~ the mainmast メーンマストより後後に.

ab-a-lo-ne [ˈæbəlouni:] 図 1 [C] [貝] アワビ (貝からボタン・装飾品を作る). 2 [U] アワビの身.

a-ban-don [əbændən] 副 1 [十目] 人・場所・地位などを捨てる, 見捨てる, 捨て去る: ~ a friend 友人を見捨てる / A- ship! (沈没しかけている)船を離れる. 2 a [十目] 計画・習慣などを(中途で)やめる(★ 匹較 give up のほうが口語的): ~ one's work 仕事を断念する / ~ alcohol 酒を断つ. b [十目 + 副 + 四型] <...を>やめて...に[する] (for): ~ law for art 法律をやめて美術をやる. 3 [十目 + 副 + 四型] a <もの>を...にゆだねる; <所有物を>(敵などに)明け渡す(to): ~ an affair to the control of a person ある事柄を人の管理にゆだねる / ~ a castle to the enemy 城を敵に明け渡す. b [~ oneself で] <...に>身を任せる, ふける(to): He ~ed himself to pleasure(s) [grief]. 彼は歓楽(悲嘆)に明け暮れた. — 図 [U] (自由)奔放(ぜ), 気まま: with [in] ~ 思うままに, 思いやり.

— **a-bán-doned** 副 1 図 (見)捨てられた: an ~ car 遺棄された車 / an ~ child 捨て子. 2 (まれ・婉曲) 放埒(ぜ)な, 恥知らずの, あはすれの.

a-bán-don-ment [-mənt] (abandon の名詞形) — 図 [U] 1 放棄. 2 a 自暴自棄(ぜ), b (自由)奔放, 気まま.

a-base [əbeɪs] 動 1 人・ものの地位・品格などを落とす, 下げる. 2 [~ oneself で] 自分の品格を落とす.

a-base-ment [-mənt] (abase の名詞形) — 図 [U] [mat an ~] (品位などの)失墜; 屈辱: (the) ~ of the law 法の権威の失墜.

a-bash [əbæʃ] 動 1 人(を)恥じ入らす, 当惑させる(★ 通例 過去分詞で形容詞的に用いる; ⇒ abashed).

a-bashed 副 [P] 1 (人前)恥じ入って, 当惑して: be [feel] ~ きまり悪がる, まどろい. 2 [十目 + 四型] <...に>まどろいて, 当惑して(at, by): The girl was [felt] ~ at the sight of the room filled with strangers. 少女は見知らぬ人でいっぱいの部屋を見るとまどろいた. 「つき, 当惑」

a-bash-ment [-mənt] 図 [U] 恥じ入ること; まどろい

a-bate [əbeɪt] 動 1 [十目] 1 (文語) a <...の>数[量, 程度などを]減少させる; <価値>下げる, <税>軽減する. b <勢い・苦痛などを>やわらげる, 弱める. 2 [法] <不法妨害を>排除する: ~ a nuisance 不法妨害を排除する(隣の家から突き出た木の枝を切ることなど). — 図 [風・あらし・怒りなどが]衰える, やわらぐ; <洪水・熱が>ひく.

a-bate-ment [-mənt] (abate の名詞形) — 図

1 a [U] 減少; 減退; 減額. b [C] 減少額; (特に) 減税額. 2 [U] [法] (不法妨害の)排除.

ab-a-tis [ˈæbati-, -tis] 図 [C] (複 ~es, ~[tiːz]) 1 (城の)鹿砦(さ), 逆茂木(さ). 2 (有刺鉄線による)鉄条網. 「ラメント用電池」

Á battery 図 [C] [電] A 電池 (真空管などのフィ

ab-at-toir [ˈæbətwaː | -twɑː] 【フランス語から】

— 図 [C] (英) 畜殺場. 「大修道院長

ab-ess [ˈæbis] 図 [C] [呼] 掛けにも用いて 女子

ab-bey [ˈæbi:] 図 1 a [C] (abbot または abess が管理した, 特に昔の)大修道院. b [しばしば A-] [C] (もと大修道院であった)大寺院(邸宅). c [the A-] = Westminster Abbey. 2 [U] [the ~; 集合的に] 修道院の人たち(★ 囲因 集合体と考える時には単数, 構成要素を考える時には複数扱い).

ab-bot [ˈæbət] 図 [C] 大修道院長.

abbr(ev). (略) abbreviated; abbreviation(s).

ab-bre-vi-ate [əbrɪˈviːt] 【ラテン語「短くする」の意から】— 副 1 a [十目] <語・句を>(一部を残して)略して書く: ~ a word 語を短縮する. b [十目 + 副 + 四型] <語・句を>...に短縮する, 略して書く(to): “United Nations” is usually ~d to “UN.” United Nations (国連)は普通 UN と略記(略称)される. c [十目 + as 補] <語・句を>...と短縮する, 略する: Noun phrase is ~d as NP. 名詞句は NP と略す. 2 [十目] <話・訪問などを>短縮する: ~ a novel for young readers 小説を若い読者向きに短縮する. 3 [十目] (戯言) <服などを>(極端に)短くする, 縮める.

ab-bre-vi-a-tion [əbrɪˈviːʃən] (abbreviate の名詞形) — 図 1 [U] 省略, 短縮. 2 [C] 省略形, 略語, 略字 (for, of): ‘TV’ is an ~ for [of] ‘television.’ TV は television の略語だ.

[語法] 語の省略は (1) period [.] で示す: Jan. (<January) / cf. (<confer). (2) 語尾を残す場合も同じ方式が普通であるが, 初めと終わりの文字などで造る時は [.] を用いない方式もある: Mr. or Mr (< Mister) / Ltd. or Ltd (< Limited). (3) しばしば用いる術語・大文字語では [.] を用いないことも多い: OE or O.E. (< Old English) / SE (< South-East) / UNESCO (< United Nations, Educational, Scientific, and Cultural Organization). (4) 省略によってできた新語では [.] は不要: bus (< omnibus), ad (< advertisement), Unesco, etc.

ABC [éibi:si:] ④ (複) ~'s, ~s [~z] 1 ④ [米] では ④ 通例 複数形で; 通例 one's [the] ~('s) で エービーシー; 読み書きの初歩: learn one's [the] ~('s) エービーシーを習う; 読み書きの手ほどきを受ける。2 ④ [米] では通例 複数形で; 通例 the ~('s) で 初歩, 入門 (of): the ~('s) of economics 経済学入門。

(as) **easy as ABC** 非常にやさしい[たやすい]。

ABC (略) American Broadcasting Companies [米国の三大テレビネットワークの一つ]。

ab-di-cate [æbdi:kɛt] ④ ④ 1 <王位などを>捨てる, 退く: ~ the crown [throne] 退位する。2 [文語] <権利・責任などを>放棄する, 捨てる。— ④ [動 (+副 +他動)] <王位などから>退位する [from]: ~ from the throne 退位する。

ab-di-ca-tion [æbdi:kɛɪʃən] ④ [abdicate の名詞形] — ④ ④ [具体的には ④] 1 退位。2 [権利などの] 放棄, 棄権。 [放棄者: ab-di-ca-tor [-tə | -tə] ④ ④ 1 退位者。]

ab-do-men [æbdəmən, æbdou-] ④ ④ (複) ~s, -dom-i-na [æbdəmənə, əb- | -dóm-] 1 (人間・哺乳動物の) 腹部, 腹 (⇒ body さし絵)。2 (昆虫・甲殻類の) 腹部。

ab-dom-i-nal [æbdómənl, əb- | -dóm-] ④ [abdomen の形容詞形] — ④ ④ 腹部の: ~ breathing 腹式呼吸 / an ~ operation 開腹手術。

ab-duct [æbdʌkt] ④ ④ <女・子供を>(暴力で)誘拐する。

ab-duc-tion [æbdʌkʃən] ④ ④ 誘拐。し, 拐する。

ab-duc-tor [-tə | -tə] ④ ④ 誘拐者。

Abe [éib] ④ エイブ [男性名: Abraham の愛称]。

a-beam [əbi:m] ④ [海] (船の) 真横に。

a-bed [əbéd] ④ [古] 寝床に: lie ~ 寝ている。

A-bel [éibəl] ④ [聖] アベル [Adam の第2子, 兄 Cain に殺された]。

ab-er-rant [æbérent] ④ ④ 1 正道をはずれた; 常軌を逸した。2 [生物] 変型の。

ab-er-ra-tion [æbéreɪʃən] ④ ④ [具体的には ④] 1 正道[常軌]をはずれること; 脱線(行為)。2 [病理] (一時的) 精神異常。3 [生物] 変型, 変状。4 [光] 色差。5 [天] 光行差。

a-bet [əbét] ④ ④ (a-bet-ted; a-bet-ting) 1 <悪事・犯罪を>けしかける, 扇動する, 教唆(きそ)する。2 [+目 +副 +他動] <人>を扇動して(悪事・犯罪を)働かせる[in]: ~ a person in a crime 人をそそのかして罪を犯させる。aid and abet ⇒ aid。

a-bét-ment [-mənt] ④ ④ 扇動, 教唆(きそ)。

a-bét-tor, a-bét-ter [-tə | -tə] ④ ④ 教唆者。

a-bey-ance [əbéjəns] ④ ④ [文語] (一時的な) 中止, 停止: be in ~ 一時中止になっている, 停止中である / hold [leave]...in ~ ...を一時未決にしておく / fall into ~ 一時停止になる。

ab-hor [əbhɔ:, əb- | -hɔ:] ④ ④ (ab-horred; ab-hor-ring) [+目] <...を>ぞっとするほど嫌う: 1 ~ violence [snakes], 暴力[へび]が大嫌いだ。~ rer [-hɔ:rə | -rə] ④

ab-hor-rence [əbhɔ:rəns | -hɔ:r-] ④ [abhor, abhorrent の名詞形] — ④ ④ 1 ④ [また an ~] 憎悪(にくみ), 嫌悪(にくみ)感: hold...in ~ = have an ~ of ...をひどく嫌う。2 ④ 大嫌いなもの。

ab-hor-rent [əbhɔ:rənt | -hɔ:r-] ④ ④ 1 a <行為など>いまいしい, 大嫌いな, いやてたまらない。b ④ [+副 +他動] [人などにとって]嫌悪すべきで(to): Hypocrisy is ~ to them. 彼らは偽善が大嫌いだ。2 ④ [+副 +他動] <...に>相反して(to): Such an act is ~ to my sense of right. そのような行為は私の道義観には耐えられない。

a-bide [əbaɪd] ④ (a-bode [əbəud], a-bid-ed) ④ [+副 +他動] [文語・古] 1 <場所にとどまる,

残る(in, at); [人の所にとどまる(with): ~ in the same place 同じ場所にとどまる / A ~ with me. 我がもとにとどまれ(★賛美歌から)。2 <...に>住む, 滞留する(at, in)。— ④ ④ 1 [否定・疑問文で] a [+目] <...を>我慢する: A good housekeeper cannot ~ dirt. よい主婦は家を不潔にしてはおけない。b [+to do / +doing] <...すること>を我慢する: He cannot ~ to stay [staying] in one position for long. 彼はひとつの職に長くじっとしておれない男だ。2 [+目] [古・詩] <...を>待つ。

abide by... (1) <規則・法令・決定など>を守る: You must ~ by your promise. 約束は守らなければならない。2 <結果など>を甘受する: 決定などに従う: Do your best and ~ by the event. 自己の最善を尽くして事の成行きに従え。

a-bid-ing ④ ④ 長続きする, 永久的な: an ~ friendship 変わらぬ友情。

a-bil-i-ty [əbiliti:] ④ [able の名詞形] — ④ ④ ④ [+to do] <...することが>できること: He has the ~ to make a good plan. 彼には良い計画を立てる能力がある。2 a ④ 能力, 技量; 力量(in, at, for) (★[語法] ability は生まれつきのまたは努力して得た能力-force; faculty はある特定の分野の先天的または後天的な能力; talent は特に芸術の分野における先天的な能力; genius は科学・芸術などでの創造的で非凡な才能; gift は生まれつき備わって努力なしで自然に発揮される優れた才能): He has unusual ~ in English. 彼は英語にずばぬけた才能を持っている / the ~ of apes for imitation サルのものまねの才 / to the best of one's ~ 力の及ぶかぎり。b ④ [しばしば複数形で] 才能: a man of ~ [abilities] 才能のある人, 手腕家 / natural abilities 生まれながらの才能。

a-bil-i-ty [əbiliti:] ④ ④ [名詞語尾] -able に対する名詞語尾: capability, acceptability。

ab-ject [æbdʒekt] ④ ④ 1 <暮らし・状態など>救い難い, みじめな, 落ちぶれて果てた。2 <人・行為など>卑しむべき, 卑屈な, 見下げ果てた: make an ~ apology ひらあやまりにあやまる。~ly ④

ab-jec-tion [æbdʒékʃən] [abject の名詞形] ④ ④ 1 落ちぶれた状態, 下賤(げん)。2 卑屈, 卑劣。

ab-ju-ra-tion [æbdʒurɛɪʃən] [abjure の名詞形] — ④ ④ [具体的には ④] 誓って放棄すること; (故国・国籍) 放棄。

ab-jure [æbdʒʊə | -dʒʊə] ④ ④ 1 <権利・忠誠などを>誓って放棄する。2 <意見・信仰などを>正式に取り消す, 捨てる。

ab-la-tive [æbləti:] [文法] ④ ④ 奪格の: the ~ case 奪格。— ④ ④ 1 [the ~] 奪格。2 ④ 奪格の語(形)。

ab-laut [əplaut, əb-] ④ [ドイツ語から] — ④ ④ [言] 母音変差[交替], アブラウト (cf. umlaut) (例: sing—sang—sung)。

a-blaze [əbléiz] ④ ④ 1 燃え立って: set... ~ ...を燃え立たせる。2 [+副 +他動] a <ものが>光などど輝いて(with): ~ with light 光り輝いて。b <人が>(怒り・情熱などで)興奮して(with): He was ~ with anger. 彼はまっ赤になっでおこっていた。

a-ble [éibl] ④ (a-ble; a-ble-able) 1 ④ [+to do] <...することが>でき, <...しうて>(★[用法] (1) 通例 生物の主語に用いる; (2) can の代わりに用いるが, 特に can に未来形・完了形がないので, will [shall] be able to, have [has, had] been able to を補充する; また, can の過去形は could だが, 仮定などの意味にも用いるので, was [were] able to が好まれる; (3) この意味の時の比較級は better [more] able to ... than... となる): I am ~ to solve the riddle. 私はそのなぞを解くことができる / You will be ~ to

leave (《米》) the hospital tomorrow. あなたはあした退院することができます。 2 (事を行なうのに) 有能な, 腕きの (★ 語源) able は事を行なうのに必要なら, またはすぐれた能力を持つ; capable はある事をするのに必要な実際的な能力を持つ; competent は特定の仕事をするのに十分な能力を持つ: an ~ teacher 有能な教師。

-able [əbl] 接尾辞 [形容詞語尾] 1 [他動詞に自由に付けて] ...できる, ...するに適する, ...するに足る: usable, eatable, lovable. 2 [名詞に付けて] ...に適する, ...を好む: marriageable, peaceable.

able-bodied [əblɪbɒdɪd] 形 1 (体の) 強壮な. 2 <水夫が> A.B. 級の, 熟練した.

able-bodied [əblɪbɒdɪd] **séaman** [sə'mæn] (the -men) 名 1 (海) A.B. 級の水夫, 熟練船員 (略 A.B.).

a-bloom [əblu:m] 形 2 花が咲いて.

ab-lu-tion [əblu:ʃən] 名 1 具体的には [C] (特に, 宗教的な) 沐浴 (洗), 垢離 (洗). 2 [C] [通例複数形で] 斎戒沐浴; (戯言) 戯言, 手(顔)を洗うこと: perform [make] one's ~s 斎戒沐浴する; (戯言) 体[手や顔]を洗う.

a-bly [əbli:] 副 有能に, うまく, 巧みに, 立派に. **a-bly** [əbli:] 接尾辞 [副詞語尾] ...できるように: demonstrably, pleasantly.

ABM (略) antiballistic missile.

ab-ne-gate [əbnɪgeɪt] 動 1 <快楽を> 断つ, 拒否する. 2 <所信・権利を> 捨てる, 放棄する.

-ga-tor [-tə | -tə] 名 1 [ab-negate] [ab-negate] の名詞形

ab-ne-ga-tion [əbnɪgeɪʃən] [ab-negate] の名詞形 1 拒絶; 棄権. 2 克己, 自己犠牲.

ab-nor-mal [əbnɔ:məl, əb- | -nɔ:-] 形 (more ~; most ~) (通例 悪い意味で) 異常な, 例外的な; 変則的; 正常以上[以下]の; 変態の, 病的 (→ normal): an ~ child 異常児 / ~ psychology 異常心理学 / Her behavior is ~ for a girl of three (years old). 彼女の行為は3歳の女の子にしては異常だ. ~ly [-məli:] 副

ab-nor-mal-i-ty [əbnɔ:məli:ti] [-nɔ:-] [ab-normal] の名詞形 1 異常(なこと), 変則. 2 [C] 異常なもの[こと], 変則なもの[こと], 奇形.

***a-board** [əbɔ:d] [əbɔ:d] 副 (比較的な) 船[飛行機, 列車, バスに(乗って)] go ~ 乗船[車]する / have... ~ ...を乗せて[積んで]いる / take... ~ ...を乗せる, を積み込む / All ~ [船・列車の乗客に注意を促して]皆さんお乗りください, 出発いたします / Welcome ~! ご搭乗(乗船, 乗車)ありがとうございます (★ 乗務員が乗客に対して言う言葉). — 副 <船・列車・バス・飛行機に> 乗って: come [go] ~ a ship 乗船する.

***a-bode** [əbɔ:d] 動 abide の過去形・過去分詞. — 副 1 (古・文語) 住所, 住居: take up one's ~ 住居を定める / of [with] no fixed ~ [法] <人> が住所不定の.

***a-bol-ish** [əbɔ:lɪʃ] [əbɔ:l-] 副 2 [目] <制度・法律・習慣を> 廃止する.

ab-o-li-tion [əbɔ:lɪʃən] [abolish] の名詞形 1 廃止, 全廃: the ~ of control 統制の廃止. 2 [時] A. (米) 奴隷制度廃止.

ab-o-li-tion-ism [-ʃənɪzəm] 名 1 (奴隷制度) 廃止論. — 止論者.

ab-o-li-tion-ist [-ʃənɪst] 名 1 (奴隷制度) 廃止論者.

ab-o-ma-sum [əbɔ:mɪsəm] 名 1 (複 -ma-sa [-sə]) 皺胃 (胃) (反芻(げ)動物の第4胃).

À-bomb 名 1 (口語) 原子爆弾, 原爆 (atomic bomb).

a-bom-i-na-ble [əbɔ:m(ə)nəblɪəbɔ:m-] [abominate] の形容詞形 1 いとうべき, いまわしい, 言語道断な: an ~ crime 極悪非道な犯罪. 2

(口語) <人・行為・天気など> 実にいやな, ひどい: ~ behavior ひどいふるまい[態度] / The weather in winter is ~, 冬の天気は実にひどい[悪い].

Abominable Snówmán [əbɔ:mɪnəblɪəbɔ:mən] (the -men) 名 1 [時に a ~ s ~] (口語) 雪男 (yeti) (ヒマラヤ山中に住むといわれる怪物).

a-bóm-i-na-bly [-nəblɪ:] 副 1 言語道断に. 2 (口語) ひどく, いやに.

a-bom-i-nate [əbɔ:mənɪt | əbɔ:m-] [ラテン語「不吉なもの見なす」の意から] — 動 1 (文語) <...を> ひどくいみ嫌う, 憎悪する: ~ a crime 犯罪を憎む. 2 (口語) a [+目] <...が> 大嫌いだ: I ~ snakes. ヘビが大嫌いだ. b [+doing] <...することが> 大嫌いだ: I ~ dancing. ダンスは大嫌いだ.

a-bom-i-na-tion [əbɔ:mənɪʃən | əbɔ:m-] [abominate] の名詞形 1 憎悪(心), 大嫌いだ: hold...in ~ ...をいみ嫌っている. 2 [C] (...にとっていまいましいこと[行為], 大嫌いなもの) [to].

ab-o-rig-i-nal [əbɔ:rɪdʒɪnəl] 名 1 原生の, 土著の, もとからの: ~ races [fauna, flora] 土著の民族[動物, 植物]. 2 原住民の: ~ languages 土著語. 3 オーストラリア原住民の. — 名 1 = aborigine. ~ly [-nəlɪ] 副

ab-o-rig-i-ne [əbɔ:rɪdʒɪni:] 名 1 原住民. 2 通例 A- (オーストラリア) の原住民.

a-bort [əbɔ:t | əbɔ:t] 動 1 妊娠中絶する, 堕胎する. 2 (生物) <動植物・器官などが> 発育しない, 退化する. 3 a <計画などが> 挫折する, 失敗する. b (軍) <ミサイル発射などが> (故障などで) 中止になる. — 名 1 a <胎児を> 流産させる, 堕胎する. b <妊娠を> 中絶する. 2 a <計画などを> 中止する. b (軍) <ミサイル発射などを> 中絶する, 中止する: Blast-off has been ~ed. (ロケット・ミサイルの) 発射は中止された.

a-bor-tion [əbɔ:ʃən | əbɔ:-] 名 1 具体的には [C] 人工流産, 妊娠中絶, 堕胎; 流産: get [have, procure] an ~ 堕胎させる, 妊娠中絶する. 2 [C] a (人工) 流産した胎児; 月足らずの子. b 不具(者). 3 失敗[挫折]したものの[計画(など)]. 4 [C] (生物) (器官の) 発育停止[不全].

a-bor-tion-ist [-nɪst] 名 1 堕胎医.

a-bor-tive [əbɔ:tɪv | əbɔ:-] 形 1 早産の; 発育不全の, 未成熟の. 2 不成功の, 失敗した: an ~ enterprise 失敗に終わった仕事 / His efforts proved ~, 彼の努力もむなしかった. ~ly 副

a-bound [əbaʊnd] 動 1 [+副+時態] 1 <生物・ものなどが> (場所) にくさんしている [ある] (in, on): Fish ~ in this river. この川には魚が多い (cf. 2). / Coyote used to ~ on the Plains. (北米の) 大草原にはコヨーテがたくさんいたものだ. 2 <場所が> (生物・物質などに) 富む (in, with): This river ~s in [with] fish. この川には魚が多い (cf. 1).

***a-bout** [əbaʊt, əbaʊt] 副 1 [関係・従事を表して] a ...についての, ...に関して [ある] (★ 巨題 on の場合より一般的な内容のものに用いる): a book ~ gardening 園芸の本 / There was a quarrel ~ money. 金のことでもめた / I know all ~ it. それについてはすっかり知っている / What is the book ~? この本は何が書いてあるのか / What is this fuss all ~? いったい何でこんなに騒いでいるのか / He was anxious (~) how you were getting on. 君がどんなふうにいるのか彼は心配していた (★ 巨題 wh. 断句) の前の about は口語ではよく略される) / How ~...? ⇒ how 副 / What ~...? ⇒ what 代. b ...に対して: She is crazy [mad] ~ Robert. 彼女はロバートに夢中だ. c ...に従事して, ...に取りかかって: while I am [you are] ~ it (それをして) つい

で / What is he ~? 彼は何をしているのか / Be quick ~ it. = Don't be long ~ it. さっさとおやり。
2 [周囲を表わして] **a** 《英》...のあたりに、...の近くに(《米》around): ~ here この辺に / stand ~ the door 戸口あたりに立つ。 **b** 《英》...のあちこちに[へ]、...の方々に[へ] (《米》around): There are trees dotted ~ the field. 野原に木が点状にしている / travel ~ the country 国を方々旅行する / walk ~ the room 部屋を歩き回る。 **c** 《文語》...の回りに[の]: the trees ~ the pond 池の周囲の木。 **d** ...ごろ(に)、およそ... (★**囲因**) 数詞の前の about は副詞と考える; ⇨ **例 1 a**): ~ the end of May 5月の末ごろ / He is ~ my size. 彼は大体私と同じ大きさです。 **3** [身の回り・身边を表わして] (cf. on **例 2**, with **例 C 4 b**) **a** [通例] there is... ~ ...の構文で人・ものなどが持つ雰囲気を表わして] ...の身边に、...には: There is something noble ~ him. 彼にはどこなく気品がある / There is something strange ~ his behavior. 彼のふるまいはどこか変わった所がある。 **b** 《まれ》...の身の回りに、...を持ち合わせて: all he had ~ him 彼の所持品全部。
go about... ⇨ go. set about... ⇨ set.

— [一→] **副** (比較なし) **1 a** [数詞に伴って] おおよそ、約... (⇨ **例 2 d** **囲因**) (★**語源**) about は示されている数・量に達しているかいないかは問題にせず大体それに近い場合に用いられる; almost, nearly はもう少しして示れている数・量に達しそうである場合に用いられる; almost のほうが nearly より接近の度合いが強い時に用いられる: ~ four miles 約4マイル / It's ~ five (o'clock). 5時ごろだ (★**囲因** at ~ five o'clock の形を不可とする人もあるが、実際にはしばしば用いられる)。 **b** 《口語》ほとんど、ほぼ: ~ right [finished] 大体正しくて[済んで] / It's ~ time to start. そろそろ出かける時刻だ。 **c** 《皮肉》いい加減、ちょっと: I'm ~ tired of his talk. 彼の話にいい加減うんざりだ。 **2** 《英》 **a** あたりに、そこらに、手近に(《米》around): There is nobody ~, あたりにだれもいない / Is he anywhere ~? 彼はそこらにいますか。 **b** [通例 動作を示す動詞に伴って] あちこちに、あちらこちらへ、方々に; (...し) 回る、回す (《米》around): carry a lot of money ~ 大金を持ち回る / follow a person ~ 人について回る / go [move] ~ 歩き[動き] 回る / look ~ 見回す / move things ~ 物をあちこち動かす。 **c** [通例 動詞に伴って] そこら中に、さんざいに(《米》around): The tools lay ~. 道具があたりに散らばっていた / drop things ~ 物をばらばら落とす。 **d** [通例 動詞に伴って] ぶらぶらと(して)回る[遊ぶ] (《米》around): fool ~ ⇨ fool **3** / idle ~ ⇨ idle **④ 1**。 **3 a** ぐるりと(回って); めくって: all ~ 周囲をぐるりと / go a long way ~ 遠回りする。 **b** 向きを変えて、反対の位置[方向]に: the wrong way ~ 反対に[で]、逆に[で] / face ~ 《軍》回れ右させる; 向き直る / A ~ face [turn]! 回れ右! **4** 順番に: take turns ~ 交替でやる (★**囲因** 《米》では通例 about をつけない) / ~ TURN (and turn) about **図 例句**。

— **形 ②** (比較なし) **1** [+to do] **a** 今にも...しかけいて (★**囲因**) be about to do は be going to do よりも "be on the point of doing" 今にも...しようとしている」の意をより明確に表わす; 従って、tomorrow などの副詞句は用いない: Something unusual was ~ to happen. 何か異常なことが起こりかけていた / I was ~ to go out when he called on me. 出かけようとしている時に彼が訪ねてきた。 **b** [否定文で] 《米口語》...する気は全然なく: I'm not ~ to pay ten dollars for it. それに10ドルも払うつもりはない。 **2 a** 起きて、動き回って、活動して: ⇨ out and about, up and about **図 例句**。 **b** <病

氣が流行して: Measles is ~. はしかがはやっている。
about-face **図 ②** [通例 単数形で] 《米》 **1** 回れ右; 逆戻り。 **2** (主義・態度などの) 180 度の転向。
— 動 ① 回れ右をする。 **2** 主義[態度]を一変
about-turn **図 ②** 《英》 = about-face. する。
a-bove [əbʌv, əbʌv] **副 1** [方向・場所などを表わして] **a** ...より上に[へ]、...より高く[い]; ...の上に(出て) (⇨ below) (★**語源**) above は...から離れてそれより上のほうに; over は...の真上に、または...の上にかぶさっている場合をいう: fly ~ the trees 木の上を飛ぶ / The peak rises ~ the clouds. その峰は雲の上にもびえて / ~ the trees 木の上のほうに。
b ...の上流に[の]: a waterfall ~ the bridge 橋の上手の滝。 **c** ...の先[向こう]に; ...の北方に[で]: He lives five doors ~ the school. 彼は学校から5軒先に住んでいる。 **2** [数量・程度などを表わして] **a** (数量など)...を越える[で] (cf. beyond **3**): ~ a hundred 100 を越える / speeds ~ thirty miles an hour 時速 30 マイルを上回るスピード / men ~ 20 (years old) 20 歳より上の人々。 **b** (地位・身分など)...より上位に[の]、...に優って; ...を越えて: He is ~ me in rank. 彼は私より上役だ / Don't live ~ your income. 収入以上の生活をするな。 **c** ...よりむしろ: I value honor ~ life. 生命よりも名誉を重んじる。 **3** [通例 be 動詞の補語として用いて] **a** (能力など)...の及ばない: The book is ~ me [my understanding]. その本は私には難しくてわからない。 **b** ...を超越して: You are ~ selfishness. あなたは利己心を超越している / His bravery is ~ all praise. 彼の勇敢さは賞賛の言葉がない。 **c** [doing を目的語にして] <人か> (高潔で) ...するよなこと>はしない、...を恥と思う: He is ~ telling lies. 彼はうそを言うような人ではない / I am not ~ asking questions. 私は質問することを恥じない。
above all = **above all things** とりわけ、中でも、なかんずく。 **「over 例**
above and beyond... = over and above... ⇨ be above oneself (1) 身のほどを忘れている、うぬぼれている。 (2) 興奮している、はしゃいでいる。
get above oneself うぬぼれる。

— [一→] **副** (比較なし) (⇨ below) **1 a** 上のほうに[へ]; 階上に: a room ~ 階上の部屋 (★**匠 例**) the room ~ なら「真上の部屋」。 **b** 天に、空に: in heaven ~ (上の) 天に / the stars ~ 空の星に / soar ~ 空へ舞い上がる。 **c** (川の) 上流に。 **2 a** (地位・身分において) 上位に(ある): appeal to the court ~ (上位裁判所に) 上訴する。 **b** (数量が(...を) 越えている)、より多く[大きく]: persons of fifty and ~ 50 歳以上の人々。 **3 a** (本などの) 前文に; (ページの上) 方に: as [stated [mentioned]] ~ 上[上述]のとおり。 **b** [複合語をなして] 上に: ⇨ above-mentioned。 **「副**
above and beyond = over and above ⇨ over from above 上の(ほう)からの(、上司からの(、天[神]からの(。
— [一→] 形 (比較なし) 上に述べた、上述の: the ~ instance 上の例 / the ~ facts 上記の事実。
— [一→] 図 [the ~]; 集合的に] 《文語》上記[以上]のこと[人] (★**囲因**) 集合体と考える時には単数、構成要素を考える時には複数扱い: The ~ proves ... 上述のことは...を証明する / The ~ are the facts which he has collected. 上記のものが彼の集めてきた事実である。

above-board 《「盤の上で」の意から; トランプをするとき手を盤の上におけば不正ができないことから》
— 副 ② 公明正大に[で]、な; ありのままに[の] (⇨ underhand)。 **「~ facts 上述の事実**
above-mentioned **形 ②** 上述の、前記の: the